

RI2820地区

# 水海道ロータリークラブ



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度 RI会長  
K. R. ラビンドラン 氏

**例会予定** 11月18日 外部卓話 大子RC  
11月25日 ガバナー公式訪問

VOL. 53 No. 17(通算No. 2458)

2015年11月11日(水) 例会プログラム

点 鐘  
ロータリーソング・四つのテスト  
ビジター紹介  
出席報告  
SAA報告  
諸報告  
幹事報告  
会長挨拶  
公式訪問前ガバナー補佐 中村康博様



クラブ創立当初のバナーは、ロータリーのマークに「水」の字をあしらったものでしたが、創立10周年当時、バナーを変えたいという意見が出て、研究検討の結果出来たものが現在のものです。鬼怒川と小貝川にはさまれた水海道は、昔から水路を利用して、江戸に通じる要地として繁栄し、川との関わり合いの深い所です。

鯰は「如拙」の「瓢箪鯰」にあるよう、また幸を招く魚として、川魚の代表的な魚です。この「鯰」と「川」が当地の特色をもっとも的確に表すだろうと云うことで、東京女子美術学校講師であった増淵淳子先生が両川の清流に黄金の鯰を配して図案化したものです。

2015-2016年度 会 長 海 老 原 良 夫 幹 事 松 崎 隆 詞

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790  
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386  
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



## 11月はロータリー財団月間

例会報告 VOL. 53 No. 16 (No. 2457) 11月 4日(水)晴れ (司会 廣井 信委員)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎ロータリー情報委員会 松坂委員長  
武藤直前会長

### ピジター

第2790地区 柏東ローリークラブ 幹事 藤原和子様

第2790地区 柏東ローリークラブ 新田辰吉様

### 誕生祝



《会員》染谷正美会員 田上秀雄会員 松村仁寿会員 草間春正会員 北村英明会員 青木正弘会員  
《ご夫人》隅屋会員 倉持会員 瀬戸会員

義援金贈呈 第2790地区 柏東ローリークラブ 幹事 藤原和子様



この度は大変な災害にあわれお見舞い申し上げます。9月に地域のお祭りで募りました義援金をお持ち致しました。本日はいろいろと勉強させていただき、またこれからも情報の交換等が出来ればと思っております。

幹事報告 松崎隆詞幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

## 11月はロータリー財団月間

会長挨拶 海老原良夫会長 11月4日「水海道が千葉県に帰属していた時代のこと」



当クラブの水害被災に際し利根川を挟んで隣接する第2790地区からもご厚志を賜った。

その第2790地区と常総市、つくばみらい市はかつて相馬郡と呼称された地域に帰属していた時代があった。

文政元年(1818)江戸群鳳堂から出版された『相馬日記』は国文学者高田与清(たかだともきよ)が下総國相馬郡地方を旅したときの紀行文で全4巻から成っている。

当時の相馬郡というのは現在の常総市の一部 旧菅生、旧坂手、旧内守谷、つくばみらい市の一部旧小絹、守谷市の全部、取手市の全部、藤代町の全部、利根町の大部分、それに我孫子市、柏市、沼南町の全部と流山市の一部にわたる広汎な地域であった。

ここに沼南という地名が登場するが、本日も来訪のうえ義援金を賜った藤原和子様が幹事をお務めなされる柏東RC様は1976年創立、2011年7月に沼南RCから名称変更されたクラブであられる。

沼南と水海道は江戸後期、相馬郡に帰属した時代を共有する仲間であった。

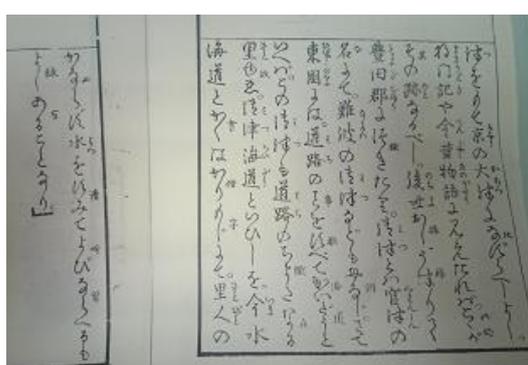
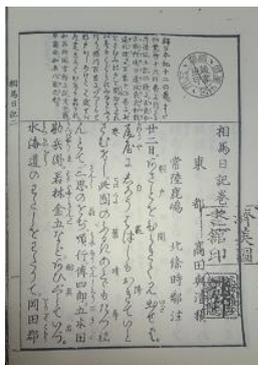
時代が下って下総國水海道村は明治2年(1869)若森縣<筑波郡大曾根村若森に役所が置かれた>に入り明治4年(1871)には印旛縣<結城、岡田、猿島、葛飾、相馬、千葉、埴生、印旛という現在の千葉県域にもまたがる下総國9群から構成された>に属した。

同年7月14日廃藩置県と同時に水海道村は水海道駅と改まった。更に明治6年(1873)印旛縣が廃止され木更津縣と合併して千葉県となり水海道付近は千葉県管下に入った。

そして明治8年(1875)新治郡の廃止に伴い千葉県と茨城縣との間に県域変更が行われ千葉県に属していた旧下総國のうち主として利根川以北の下総國6群は茨城縣に編入された。このように明治新政府により矢継ぎ早に県域の変更が行われたが、若森縣→印旛縣→千葉県と変わった水海道地方は茨城縣として、ようやく固定するに至った。

文政元年出版の『相馬日記』は下総國相馬地方の地誌、風景、伝承を著したもので4巻のうち壺と式に水海道の記述がある。水海道の地名をとりあげ、これを考証した点で最も古い文書といわれている。

昭和54年郷土史家草間常四郎は『水海道に開花した文化の片影がうかがわれて面白い』として本書を『歴史みつかいどう創刊号』にて紹介した。



## 11月はロータリー財団月間

時空を超え 2015 年。

本日私たち水海道クラブは江戸時代には相馬郡に帰属していたという歴史を共有し、そして平成の現世にあつては、ロータリアンとしての帰属意識の矜持をも共有する仲間である、柏東RC様から厚志を賜った。

### ロータリー情報委員会

#### 松坂興一委員長 「近頃思うこと」



日本国憲法が制定された1946年11月3日から69年がたった訳ですが、憲法改正と言えば絶対的にタブー視された時代から、現在では国会において与野党の議員の多くが、憲法の見直しの必要性を認めております。

日本の憲法は終戦の翌年に立憲主義に基づき制定され絶対的なものと思われております。然しながら同じ敗戦国のドイツでは、数十回も憲法の改正が行われており、わが国とは大変な相違があります。

時代の推移と共に、より良いものになることは、私は当然と思いがいかげんかでしょうか。先の国会で問題になった安全保障法制の国会審議でも、立憲主義に反すると多くの憲法学者の反対論で政治運動化されたことはご承知のとおりですが、最初から「憲法には指一本触れるな」と言うような考え方は、如何なものかと思っております。

改正すべき点は、いつも問題になる9条ばかりではなく、1票の格差、両院の選挙制度の問題、両院の役割についても明確にする必要があると思っております。

いずれにしても日本が69年間憲法を改正せぬうちに、欧米の先進諸国は、新たな統治原理や技術を憲法に盛り込んでおります。

「指一本触れるな」と言っている間に、いつの間にか憲法後進国になりかねないことが心配です。

#### 武藤康之直前会長



まず最初にロータリー創立当初の時代のお話から始めたいと思います。今から110年前の1905年、アメリカのシカゴでロータリークラブが設立されたのは、皆さん、ご存じの通りです。その20世紀初頭のアメリカはどんな状況であったかという

と、産業革命後に起きた資本主義の始まりの時代でありました。この当時の資本主義とは、資本家の欲望が労働者を搾取していたという事です。資本家が売上から原材料費と労働者に支払った賃金を差し引いたものが利益だと考えれば、いかに安い賃金で労働者を雇うかが、利潤を増やして資本の自己増殖を図る鍵となり、そこに労働者の貧困、失業などの問題や、無秩序な自由競争による経済恐慌などの大きな社会問題を孕んでいました。一方、その当時の日本はどうだったかという、前年に開戦した日露戦争の真只中で、多大な犠牲を払いながらやっとの思いで旅順港に停泊しているロシア太平洋艦隊を壊滅させ、この年の5月に日本海での「バルチック艦隊」を迎え撃つ日本海海戦へと進んでいる時代でした。

ロータリーが創立された当時のアメリカは、いかにして利潤を独占しようかと、資本家が弱肉強食の競争に明け暮れていた時代であり、特に西武に進出するための交通の要衝として栄えたシカゴの町は、成功を夢見た人たちが集まった無法と腐敗の街であり、事業主は無秩序な自由競争に狂奔し、同業者はすべてライバルであり、敵であり、法さえ犯さなければ、あるいは少々犯しても金を儲けた者が成功者としてもてはやされました。労働者を搾取したり、顧客をごまかした取引で大金を得た事に対する後ろめたい気持ちも僅かばかりのチャリティをする事で周囲の人も納得しました。騙すよりも騙される方が悪いという風潮がまかり通っていました。すさまじい自由競争の中で生きているビジネスマンにとっては、毎日過酷な日々が続き、例え今の競争に勝っても、孤独感と疎外感にさいなまされ、いつこの過酷な自由競争の敗者になるかも知れないという恐怖感が常に付きまとっていました。そんな街の中では親友など出来るはずもありません。もしもこの街の中で心から何でも相談できる、また語り合える友人がいたらどんなに素晴らしいことだろう。そういう発想からロータリーは生まれた訳です。つまりロータリーの原点は親睦だという事です。では親睦とはどういう事でしょう

## 11月はロータリー財団月間

か？前年度当地区の藤居ガバナーの言葉を借りれば「親睦とは相手を知る事」だそうです。まさに言いえて妙だと思います。相手の生まれ育ちや人となり、現在の職業やそれに対する考え方、またその状況はどうか？などを充分把握した上での付き合いでなければ真の意味での親睦とはならないと考えます。その為の手段として、飲み会やゴルフ、もちろんロータリアンですから例会での交流も重要な事柄となってきます。創立当時のシカゴロータリークラブのメンバーは4名だという事は皆さんご存知の通りです。では、それぞれの職業はというと、ポールハリスは弁護士、あとの3人はそれぞれ、印刷業、石炭商、保険屋さんだったそうです。その後、洋服屋さん、洗濯屋さんなどが入会しましたが、会員同士の親睦が図られたあとは、会員の事業の発展というふうにつながっていくのは、自然の流れでした。会員だけの利益を優先し、商売に関しては、会員以外を排除し自分たちだけが豊かな生活を享受しよう、ある意味秘密クラブ的な団体が初期のロータリークラブだったかもしれません。ちなみに創立5年後の1911年には全米に24のロータリークラブができていました。かなりの増殖率ですが、これは、それぞれのメンバーが全米各地で自分の商売が信用あるロータリアン同士で取引できる有利さと、旅行などで遠隔地を訪れた際、宿泊や観光、医療などでお互いの便宜が図られた為だと想像できます。ロータリーの草創期は以上の事から親睦とメンバーだけの事業の発展を図るという時代でした。

### 出席報告 荒井孝典委員長

| 会員総数 | 出席者数 | 欠席者数 | 出席免除 | メーク | 出席率    |
|------|------|------|------|-----|--------|
| 55名  | 43名  | 12名  | 0名   | 1名  | 80.00% |

### ニコニコボックス 五木田益城会員

入金計 ¥98,000 累計 ¥803,000

その他 第2790地区 柏東ローリークラブ 幹事 藤原和子様、新田辰吉様  
誕生祝御礼《会員》松村・青木(正)・草間・田上・北村(英)・染谷(正) 各会員  
《ご夫人》隅屋・瀬戸・倉持 各会員

今月はロータリー財団月間です。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。海老原会員  
当月11月25日は、ガバナー公式訪問です。皆様ご協力宜しくお願いします。松崎会員  
卓話をさせていただきます。お疲れの方はごゆっくりお休み頂いて結構です。武藤会員  
武藤直前会長本日よろしくお願ひ致します。大塚会員

今月は、財団月間です。皆様のご寄付を宜しくお願いします。石塚(利)会員  
2か月ぶりの出席です。いろいろとご迷惑ご心配おかけし申し訳ありませんでした。また再度のお見舞い心より感謝申し上げます。あと2週間程で営業再開出来そうです。現在はつくば支店で営業しております。

齋藤会員

お見舞いありがたく頂戴しました。お陰様で通常営業出来るようになりました。今月末の支払いが恐ろしいです。倉持会員

この度の水害では水海道RCはもとより各地のロータリークラブからもお見舞いを頂き有難うございました。心優しい水海道ロータリークラブの皆さんに感謝申し上げます。青木(正)会員

齋藤さん、お久しぶりです。席は温めておきました。北村(英)会員

先週はお見舞い金有難うございました。島田会員

早退します。鈴木(茂)・鯉沼 各会員

例会欠席しました。亀崎・染谷(正) 各会員

休みが続きました。大串会員

会報委員会 二本松恭行委員長 亀崎徳彦副委員長 本橋美章委員

### 平和をもって暴力と戦う



親愛なるロータリアンの皆さん、1991年6月末のある晴れた日の朝、1台のトラックがラッシュアワーを迎えたスリランカ・コロンボの道路を走り抜けていきました。その車は北部郊外に向かって車の間を縫うように走り、国防省作戦司令本部に到着しました。車両検査のため警備員が車を止めたその時、車中の二人が、何千キロもの爆薬を積んだ車を爆破させる自爆テロを行いました。

建物の屋根は完全に吹き飛び、数ブロックにわたってがれきが散乱しました。死亡者21人、負傷者175人の惨事となり、その中には隣接する女子校の生徒が大勢含まれていました。1km以上離れた私の家でも、爆発の衝撃で全ての窓ガラスが粉々に割れてしまいました。妻は爆発音が聞こえた方へと駆け出しました。その方角に娘の学校があったからです。

娘は当時9歳。その日の朝、娘は筆箱を家に忘れて出かけてしまいました。爆発が起こったのは、文房具屋で鉛筆を買い、大切に持って店を出た時でした。彼女は突然の耳鳴りに襲われ、砂埃にまみれ、周りにいる人々は叫び、血を流し、逃げ回っていました。彼女は、すっかり変わり果ててしまった校庭に誰かに引っ張っていかれ、そこで妻が迎えに来るのを待っていました。自宅の床にもガラスの破片が散乱したままでした。

今日、スリランカは平和で繁栄し、毎年200万人が観光に訪れています。内戦は過去の記憶となり、国民の目は希望に満ちた未来へと向けられています。しかし世界には、同じように平和を謳歌できない人が大勢います。今日、かつてないほど多くの国が紛争に巻き込まれ、戦争や暴力で家を失った人は世界全体で5,950万人に上ります。

このようなことが起ころうとも、ロータリーでは、平和は実現すると信じています。これは理想ではなく、経験に基づく信念です。私たちロータリアンは、収束困難な争いを、人々が争いではなく協調によって解決し得るのを目にしてきました。また、徹底された方法で平和を構築していくのを目の当たりにしてきました。その最たる例がロータリー平和フェローによる活動です。ロータリー平和フェローは、ロータリー財団の支援を通じて、紛争予防・紛争解決のエキスパートとなります。ロータリーでは、争いに終止符を打つだけでなく、争いをくい止めるための方法を見つけることを目標としています。

何百人ものロータリー平和フェローの中に、二人のスリランカ出身者がいました。二人は内戦で敵対したグループの出身でしたが、共に研究に励みました。最初の数週間は互いの正当性を主張するばかりでした。しかし、時間がたつにつれて互いの考え方を理解できるようになり、今日では良き友人となっています。私はそんな二人に会って話を聞き、希望を与えられました。ロータリーによって25年間の痛みとつらさを克服できるのであれば、不可能なことなどないでしょう。

私たちは暴力で暴力に立ち向かうことはできません。教育、理解、そして平和という武器をもって戦う時、私たちは真に「世界へのプレゼント」となれるのです。

K. R. RAVINDRAN

PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL

Copyright 2003-2014 THE ROTARY-NO-TOMO

Rotary World Magazine Press **ロータリーの友**

一般社団法人ロータリーの友事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階  
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956 email hensyu@rotary-no-tomo.jp